

札幌南区農園ガイドの会  
(農村ガイド)

石狩振興局

## 【会の特徴・理念】

地域を来訪する人々を増やし、「農（果樹園など）」を中心にした地域理解と地域のファンづくりを進めるため、農業者と非農業者が一体となった、地域農業の維持発展と地域活性化を目指している。

## 【地域の概要】

### ① 自然環境

札幌市の中心部から少し離れると、渓谷や深い森に囲まれ、アクティビティや果物狩りが楽しめる。



### ②人口

札幌市：1,973,432人 (R2.9)

### ③主な産業

日本最北の政令都市であり、北海道の政治・経済・文化の中心地。国内外からの多くの人々が訪れる。



### ④イベント等

さっぽろ雪まつり

YOSAKOIソーラン祭り

サッポロ・ジャズ・シティなど



## 【協議会の概要】

### ① 設立年

2020年（令和2年）

### ② 構成員・代表者（又は団体）

会長1名、会員18名（うち農業者9名）、ガイド7名

事務局（砥山ふれあい果樹園 ほか事務メバ - 5名）

### ③協議会設立の経緯（きっかけ）

札幌市南区には約20件の観光果樹園が存在し、小規模ではあるが多種多様な果樹（さくらんぼ、ブルーベリー、りんごなど）があり、立地としても札幌の奥地と座敷「定山溪」から近い場所である。しかし、認知度と工業がたふれ合えないため、地域活性化を推進し、農業者と観光客の交流を促進する。また、農園ガイドを設置することで、多くの来園者が地域を楽しみながら学べ、地域のファンが増えることを目指している。

農園ガイドを設置することで、多くの来園者が地域を楽しみながら学べ、地域のファンが増えることを目指している。

### ④活動内容

農業体験ガイド、農業を中心とした他産業と連携（地域ガイド）など

### ⑤現在の課題

ガイドの会を立ち上げたばかりであるため、プロモーション活動やイベントの充実を図り、取組農家を増やして、より組織化を広める。

また、地域の農業以外（観光協会など）で地域活性化に取り組まれている方々との連携を検討している。

## 【ガイドの会立ち上げまでの経過】

### ①札幌南区果樹園の有志による取組検討（H30～R1）

・果樹園の認知度向上と来園者の増加を目的に、魅力的な商品や売り場づくり、効果的な宣伝方法を検討するため、関係機関による果樹園ツアーや勉強会などを実施

### ②農泊や民泊との連携事例を学習（R1）

・立地条件を活かしたインバウンド等の受入を模索し、「宿泊ホスト」と「体験ホスト」の体験コーディネートの仕組みを学習

### ③農作業で手一杯の農家にかわり来園者の満足感を高める取組検討（R1）

・農業者の代わりに果樹園等を案内・体験をコーディネートする者「農園ガイド」の検討

### ④農園ガイド志向者による活動（R1）

・農園オーナー、体験ガイド志向者による札幌南区果樹園・農園の理解を深めてもらうツアーや具体的なガイドの取組を高めるためのテストツアーを実施

### ⑤キックオフ会議による「札幌南区果樹園ガイドの会」の発足（R2）

## 【特徴的な取組】



### <会への協力者>

- 会への参加者：地域を盛り上げる活動をこれまで進めてきたことによる人脈や砥山農業クラブを通じたネットワークを活かした、農業者と地域内外の賛同者による会となっている。
- ガイド志望者：地域農園に関わった人からの紹介やボランティアなどで構成されている。
- 会の運営の工夫：夏場が農繁期となるため、冬の間次年度以降（1～2年先）の中・長期計画を会員で検討し、実施の方向性を確認している。  
夏場を含む通常の細かな会の運営は、事務局と集まれる農業者等で計画を具体化し、取組を進めている。



### <学びと試行をしながらの活動>

- テストツアーの概要：農園ガイドの取組イメージを高めるため、実際と同じ手順でモデル設計し、体験した参加者の意見交換を実施した。
- 先進地視察の概要：農園ガイドの取組を実践している現地（十勝）を視察し、具体的な内容を持ち帰り会員で検討した。
- 取り組みへの意識：地域外への情報発信と他の業種などとの連携を心がけ、地域の取組を理解してもらえらる人に協力をいただいている（農業者だけの取り組みにとどめない）。



## 【連絡先】

代表窓口：札幌南区農園ガイドの会 代表 瀬戸氏

（事務局 砥山ふれあい果樹園 瀬戸氏 TEL：011-596-2694 URL：toyamafureai.com）